

参考情報

株式会社フェヴリナ 第2期業績（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

当社が、平成16年3月31日に株式を取得し、子会社といたしました「株式会社フェヴリナ」の第2期（平成15年4月1日～平成16年3月31日）の業績を下記のとおり、お知らせいたします。

	第2期	第1期
	自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日	自 平成14年8月2日 至 平成15年3月31日
売上高	307,210 千円	7,650 千円
営業利益	43,125 千円	64,117 千円
経常利益	43,237 千円	63,369 千円
当期純利益	42,851 千円	65,173 千円
株主資本	77,684 千円	34,826 千円

なお、株式の取得時期が平成16年3月31日であることから、この上記業績数値は、平成16年3月期の当社連結業績には、影響はありません。

営業の概況

平成16年3月期は、事業を開始して実質1年目にあたる年であり、今後の化粧品通信販売を展開していくうえでのインフラ整備、ビジネスモデルの構築に費やす年度でありました。売上につきましては、上期と下期の比率が24%と76%であり下期に大きな伸びを示しました。この主な要因といたしまして、一点目は平成15年12月より放映を開始したインフォーマーシャル（情報提供番組）が非常に好調であり、それまで放映していたインフォーマーシャルの約2倍の受注を獲得できました。そして二点目はアウトバウンドセールス（既に顧客になられている方にコミュニケーションセンターから電話・メール等の通信チャネルで双方向コミュニケーションを取り、追加受注などを獲得する販売方法）において、平成15年11月よりスタートいたしましたプログラム、カスタマーオーダーによるセット販売提案により、積極的な営業活動の展開を図ることが出来ました。

これらに加え、長期的にご利用いただけるお客様にサービスの面からもご満足いただける

ようにと、「ポイント加算割引サービス」(フリークエントプログラム)を導入いたしました。このサービスが好評であったことも年度後半の売上の急拡大に繋がりました。これらの施策により、今期飛躍への足がかりとなる年度となりました。

この結果、売上高は前年同期比、約 40 倍となる 307 百万円となりました。また、営業利益につきましては、43 百万円となり、設立 2 期目にして、黒字化することができました。